

平成 27 年 8 月 19 日

防災訓練での中学生ボランティアの参加について

見 附 市

1 経緯・目的

見附市では平成 16 年に 2 度の激甚災害を経験し、その検証を踏まえ、毎年 6 月に全市一斉の豪雨を想定した防災訓練を実施している。また、平成 18 年度に「見附市地域防災計画」を全面的に改正し、その中で、次代を担う若い世代に防災への関心と理解を深めてもらい、災害発生時に住民が迅速・安全に避難できるよう、中学生の地域の防災訓練への参加を位置づけている。

2 防災訓練での主な活動内容

中学生ボランティアの主な活動は、倒壊家屋からの救出救助や水防活動等の、危険が伴う活動をするものではなく、町内自主防災組織の一員として、市独自の「防災ファミリーサポート制度」による、避難時に介助が必要な方の支援や、避難場所の運営補助等を行っている。

具体的な活動内容は、地域の自主防災組織会長（嘱託員）の指示に従うもの。

また、活動はあくまでも自主的に行うもので、義務や強制をするものではない。

3 参加募集について

保護者宛の参加お願いの文書を生徒に配布し、「中学生ボランティア参加申込書」にて申し込み。

4 これまでの参加状況

年度 参加者	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
参加者(人)	2	8	67	108	85	194	443	549	868	938

※平成 27 年度は市内中学生 1,125 人中 938 名（約 83%）が参加。



平成 27 年度防災訓練（県・市合同訓練）での中学生ボランティア